

奈良県地域医療等対策協議会 小児医療部会

日時：平成20年6月10日(火)

午後4時～

場所：県立医科大学 厳樫会館
3F大会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 奈良県の小児医療の現状と課題について

(2) 小児救急医療について

(3) 意見交換

3 閉 会

小児医療部会の構成メンバー

区分	氏名	役職	出欠
医科大学	嶋 緑倫	公立大学法人奈良県立医科大学小児科学准教授	○
関係団体	岡本 和美	奈良県医師会理事	○
	村上 義樹	奈良県医師会小児科医会副会長	○
病院等	鈴木 博	市立奈良病院小児科科長	○
	平 康二	奈良県立奈良病院小児科部長	○
	南部 光彦	天理よろづ相談所病院小児科部長	欠席
	吉林 宗夫	近畿大学医学部奈良病院小児科教授	欠席
	※西野 正人	県立三室病院副院長	○
	阪井 利幸	国保中央病院副院長	○
市町村	砂川 晶生	大和高田市立病院院長	○
	辻岡 章裕	橿原市健康福祉部健康増進課長	○
県	武末 文男	県健康安全局次長	○

※印が部会長

奈良県地域医療等対策協議会 小児医療部会

日時：平成20年6月10日（金）午後4時～
場所：奈良県立医科大学蔵書館 3F 大ホール

西野 部長 吉田 会長

	○	○	
嶋 委員	○		平 委員
岡本委員	○		阪井委員
村上委員	○		砂川委員
鈴木委員	○		辻岡委員
			武末委員

事務局

○	○	○	○
○	○	○	○

奈良県地域医療等対策協議会

第1回小児医療部会

資 料

小児人口推移

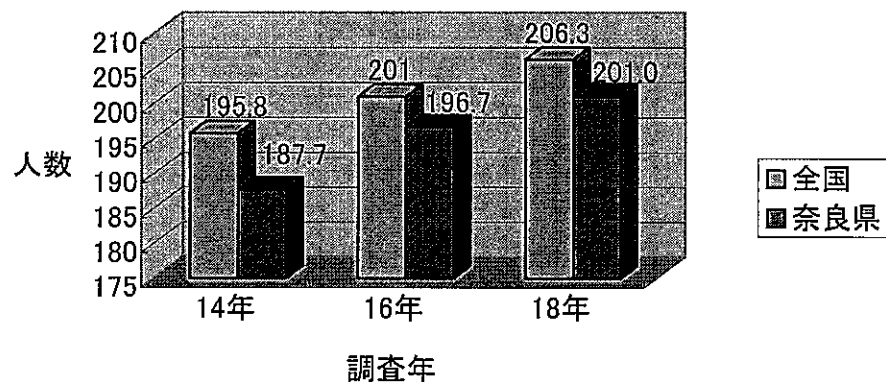
H19.10			H9.10		
	小児15歳未満人口	平成9年比		小児15歳未満人口	
奈良市	49,035	-8,678	奈良市 月ヶ瀬村	56,110	271
			都祁村	1,332	
奈良市	49,035	-8,678		57,713	
大和郡山市	12,115	-2,297	大和郡山市	14,412	
生駒市	17,105	-742	生駒市	17,847	
平群町	2,417	-383	平群町	2,800	
三郷町	3,129	-169	三郷町	3,298	
斑鳩町	3,838	-636	斑鳩町	4,474	
安堵町	917	-502	安堵町	1,419	
上牧町	3,661	-637	上牧町	4,298	
王寺町	2,981	-780	王寺町	3,761	
河合町	2,305	-626	河合町	2,931	
西和	48,468	-6,772		55,240	
天理市	10,049	-1,130	天理市	11,179	
桜井市	8,563	-1,970	桜井市	10,533	
宇陀市	3,976	-2,300	大宇陀町	1,449	
			菟田野町	846	
			穰原町	3,104	
			室生村	877	
山添村	412	-248	山添村	660	
川西町	1,144	-237	川西町	1,381	
三宅町	891	-332	三宅町	1,223	
田原本町	4,578	-644	田原本町	5,222	
曽爾村	143	-210	曾爾村	353	
御杖村	206	-106	御杖村	312	
東和	29,962	-7,177		37,139	
大和高田市	9,745	-3,149	大和高田市	12,894	
橿原市	18,429	-1,990	橿原市	20,419	
御所市	3,379	-1,639	御所市	5,018	
香芝市	13,207	2,860	香芝市	10,347	
葛城市	5,277	-266	新庄町	3,153	
			雷麻町	2,390	
高取町	877	-198	高取町	1,075	
明日香村	649	-412	明日香村	1,061	
広陵町	5,589	-220	広陵町	5,809	
中和	57,152	-5,014		62,166	
五條市	4,530	-2,113	五條市	5,985	
			西吉野村	578	
			大塔村	80	
吉野町	808	-808	吉野町	1,616	
大淀町	2,785	-695	大淀町	3,480	
下市町	786	-502	下市町	1,288	
黒滝村	83	-86	黒滝村	169	
天川村	159	-158	天川村	317	
野迫川村	47	-34	野迫川村	81	
十津川村	429	-226	十津川村	655	
下北山村	144	-38	下北山村	182	
上北山村	59	-57	上北山村	116	
川上村	124	-149	川上村	273	
東吉野村	206	-170	東吉野村	376	
南和	10,160	-5,036		15,196	
合計	194,777	-32,677		227,454	

小児輪番

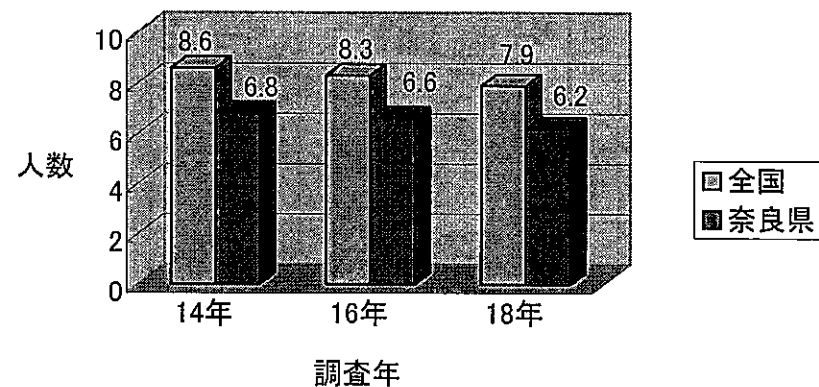
北和	99,017	(14,785)	北和	113,802
中南和	95,760	(17,892)	中南和	113,652
合計	194,777	(32,672)	合計	227,454

(厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」 人口10万人対医療施設従事医師数)

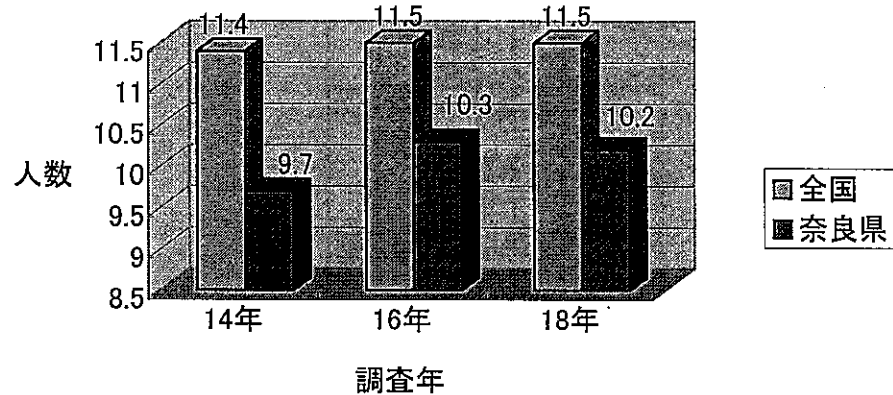
全医師数



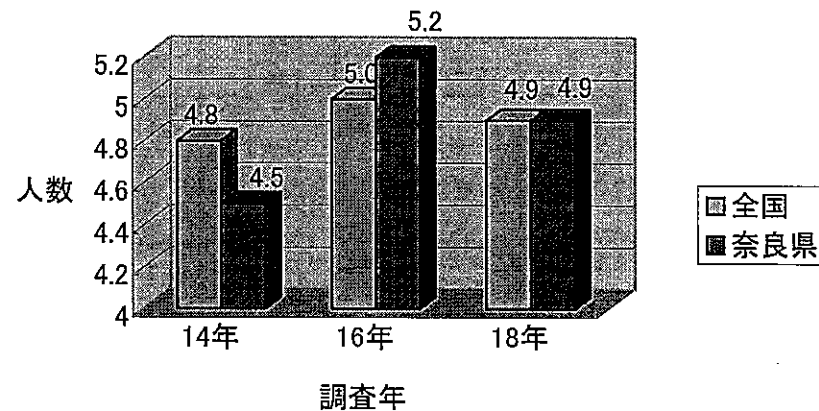
産科・産婦人科医師数



小児科医師数



麻酔科医師数



平成18年 医師・歯科医師・薬剤師調査

第41表 医療施設従事医師数、病院一診療所・診療科名(主たる)・従業地による都道府県一16大都市・中核市(再掲)別

合計	総数	小児科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科
全国	263,540	14,700	661	9,592	482	1,709
奈良県	2,846	145	8	86	1	22

病院勤務	総数	小児科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科
全国	168,327	8,228	623	5,361	322	697
奈良県	1,795	88	7	50	-	3

診療所勤務	総数	小児科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科
全国	95,213	6,472	38	4,231	160	1,012
奈良県	1,051	57	1	36	1	19

平成8年 医師・歯科医師・薬剤師調査

第41表 医療施設従事医師数、病院一診療所・診療科名(主たる)・従業地による都道府県一16大都市・中核市(再掲)別

合計	総数	小児科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科
全国	230,297	13,781	554	10,847	417	1,158
奈良県	2,388	146	-	101	1	11

病院勤務	総数	小児科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科
全国	148,199	7,919	539	6,319	272	405
奈良県	1,552	87	-	67	-	3

診療所勤務	総数	小児科	小児外科	産婦人科	産科	婦人科
全国	82,098	5,862	15	4,528	145	753
奈良県	836	59	-	34	1	8

小児輪番参加病院の常勤医師数

	平成17年10月1日現在	平成18年10月1日現在	平成19年10月1日現在	平成20年4月1日現在	備考
市立奈良病院	5	5	4	4	
県立奈良病院	4	5	5	5	
済生会奈良病院	2	2	2	2	
天理市立病院	2	2	2		H20から辞退
天理よろづ相談所病院	9	8	7	7	
奈良社会保険病院	1	2	2	1	
近畿大学医学部奈良病院	8				H18から辞退
県立三室病院	3	3	4	4	
小計	34	27	26	23	
済生会中和病院	2	2	2	3	
国保中央病院	4	5	4	4	
宇陀市立病院	2	1	1		H20から辞退
奈良友誼会病院	1	1	1	1	
大和高田市立病院	4	4	4	4	
土庫病院	1	1	1	1	
済生会御所病院	3	3	3	3	
県立五條病院	2	2	1	1	
大淀町立大淀病院	2	2	2	2	
小計	21	21	19	19	
合計	55	48	45	42	

小児輪番患者数	19915	19565	16389	-	
---------	-------	-------	-------	---	--

奈良県小児科医会員の地域別・年齢別状況

年齢 \ 区分	北和			中南和			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
～ 4 9	7	2	9	8	1	9	15	3	18
5 0 ～ 5 9	19	2	21	14	4	18	33	6	39
6 0 ～ 6 9	10	3	13	9	3	12	19	6	25
7 0 ～	7	3	10	15	2	17	22	5	27
計	43	10	53	46	10	56	89	20	109

(平成 2 0 年 5 月 3 0 日現在)

奈良県小児救急医療体制について

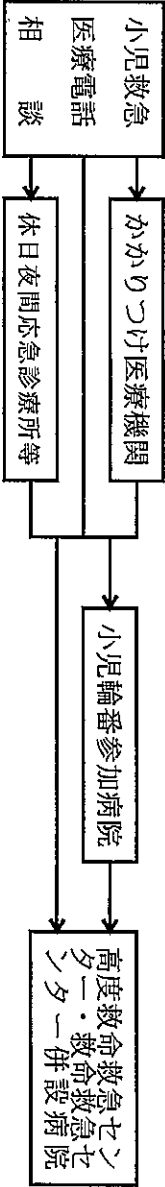
◆ 小児救急医療体制

【0.5次救急】

【1次救急】

【2次救急】

【3次救急】



◆ 小児救急医療電話相談事業（平成16年6月開始）

	H16	H17	H18	H19	平均
相談件数①	865	1,055	956	956	958
直ぐに医療機関に行くようすすめた件数②	230	272	264	237	251
②/①	26.6%	25.8%	27.6%	24.8%	26.2%

◆ 休日夜間応急診療所受診患者数の推移

（別資料のとおり）

◆ 小児科2次輪番体制（平成9年1月6日運営開始）

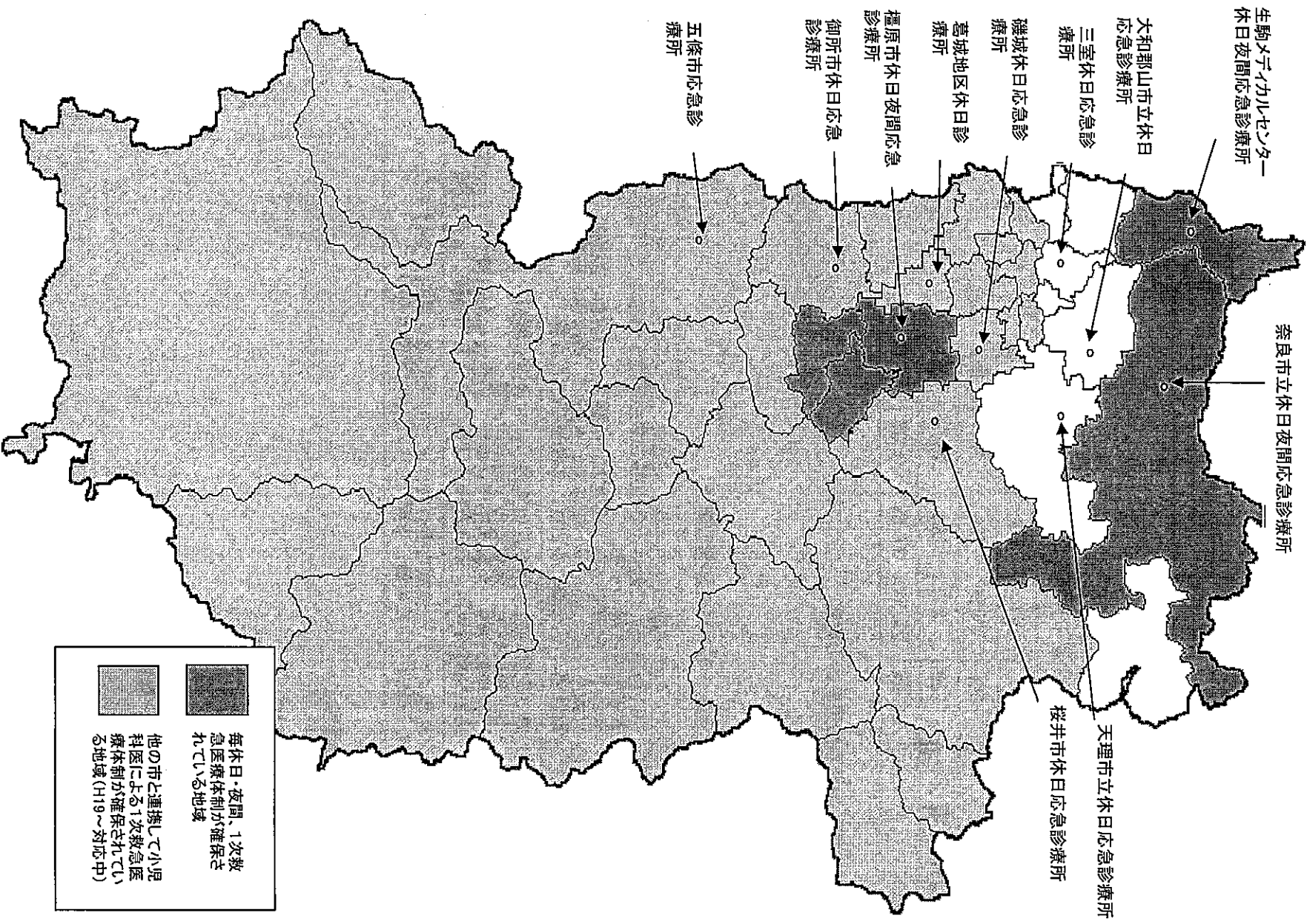
趣旨及び実施体制	地域住民の小児2次救急医療の充実確保を図ることを目的として、県内を2地域（旧保健医療計画上の北和・中南和地域）に分け、各地域の参加病院が協議して当番日を決め、各地域ごとに1病院が小児救急患者に対応する。 北和地域… 奈良市、大和郡山田市、桜井市、生駒市、山辺郡、御所市、香芝市、葛城市、宇陀市 中南和地域… 大和高田市、橿原市、高市郡、北葛城郡、吉野郡
参加病院	北和地域… 県立奈良病院、県立三室病院、済生会奈良病院、奈良社会保険病院（6病院） 中南和地域… 国保中央病院、大和郡高田友紘市立病院、済生会中和病院、町立大淀病院（8病院）
補助金	参加病院（県立を除く。）に実施当番日数に応じて補助金を県から交付する。 休日・夜間 26,130円/日（H19単価、夜間については加算措置有り）

◆ 小児輪番病院患者数の推移

（別資料のとおり）

奈良県小児1次救急医療体制図

平成20年4月1日現在



休日夜間応急診療所の診察時間

(平日)

	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時
(休日夜間応急診療所) 奈良市立休日夜間応急診療所																								
(財)生駒メディカルセンター休日夜間応急診療所																								
天理市立休日応急診療所																								
大和郡山市立休日応急診療所																								
三室休日応急診療所																								
橿原市休日夜間応急診療所																								
桜井市休日応急診療所																								
磯城休日応急診療所																								
葛城地区休日診療所																								
御所市休日応急診療所																								
五條市応急診療所																								

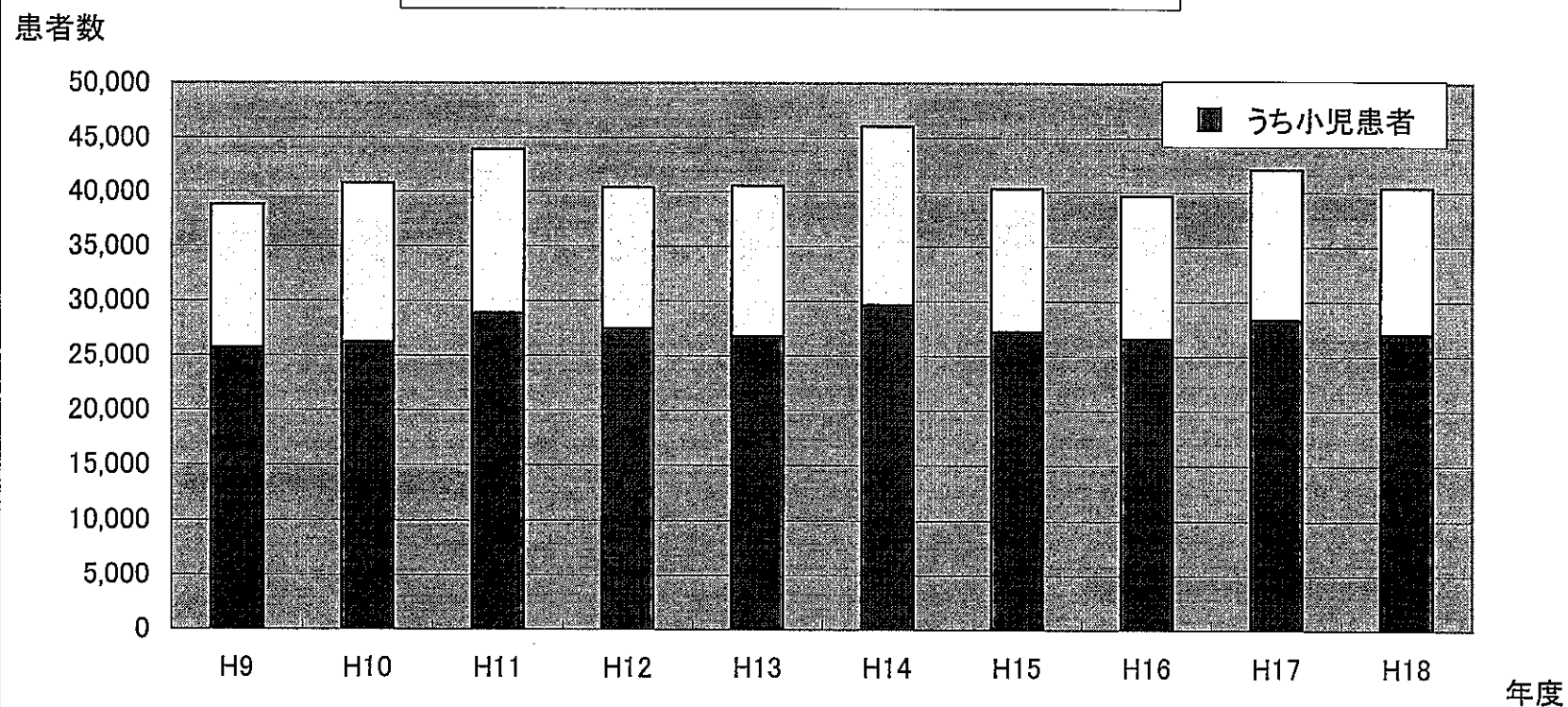
(土曜日)

	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時
(休日夜間応急診療所) 奈良市立休日夜間応急診療所																								
(財)生駒メディカルセンター休日夜間応急診療所																								
天理市立休日応急診療所																								
大和郡山市立休日応急診療所																								
三室休日応急診療所																								
橿原市休日夜間応急診療所																								
桜井市休日応急診療所																								
磯城休日応急診療所																								
葛城地区休日診療所																								
御所市休日応急診療所																								
五條市応急診療所																								

(休日)

	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時
(休日夜間応急診療所) 奈良市立休日夜間応急診療所																								
(財)生駒メディカルセンター休日夜間応急診療所																								
天理市立休日応急診療所																								
大和郡山市立休日応急診療所																								
三室休日応急診療所																								
橿原市休日夜間応急診療所																								
桜井市休日応急診療所																								
磯城休日応急診療所																								
葛城地区休日診療所																								
御所市休日応急診療所																								
五條市応急診療所																								

休日診療所患者推移(H9～H18)



	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	平均
全体数	38,809	40,824	43,917	40,384	40,559	46,051	40,311	39,640	42,101	40,388	41,298
うち小児患者	25,697	26,193	28,865	27,465	26,772	29,639	27,221	26,580	28,328	26,976	27,374
割合	66.2%	64.2%	65.7%	68.0%	66.0%	64.4%	67.5%	67.1%	67.3%	66.8%	66.3%

休日診療所小児患者数H18/H19増減

奈良市

年度 月	19	18	増減
4月	402	374	28
5月	524	505	19
6月	296	319	-23
7月	349	470	-121
8月	257	256	1
9月	262	274	-12
10月	274	279	-5
11月	258	344	-86
12月	640	559	81
1月	525	464	61
2月	298	534	-236
3月	320	559	-239
計	4,405	4,937	-532

生駒市

年度 月	19	18	増減
4月	427	379	48
5月	454	508	-54
6月	292	330	-38
7月	376	454	-78
8月	229	263	-34
9月	261	303	-42
10月	240	263	-23
11月	272	405	-133
12月	772	613	159
1月	596	469	127
2月	371	561	-190
3月	416	670	-254
計	4,706	5,218	-512

橿原市

年度 月	19	18	増減
4月	794	565	229
5月	846	740	106
6月	479	428	51
7月	584	656	-72
8月	538	482	56
9月	469	404	65
10月	476	390	86
11月	468	579	-111
12月	1,164	727	437
1月	1,068	740	328
2月	608	626	-18
3月	583	851	-268
合計	8,077	7,188	889

※患者数は年齢0歳～15歳の患者合計(小児科以外の患者も含む)

檀原休日夜間応急診療所の小児患者 (H18/H19比較)

H19 (休日)

月	0歳～6歳		7歳～14歳	
	男	女	男	女
4月	164	157	38	38
5月	193	183	47	32
6月	52	60	15	14
7月	131	86	31	21
8月	67	65	30	22
9月	117	80	28	23
10月	99	56	16	13
11月	98	70	23	21
12月	253	206	77	70
1月	256	245	90	64
2月	128	86	43	38
3月	117	79	44	20
合計	1,675	1,373	482	376
H18比較	3,048		858	
H18比較	274		-32	

H19 (夜間)

月	0歳～6歳		7歳～14歳	
	男	女	男	女
4月	133	96	30	31
5月	93	91	29	18
6月	90	79	29	15
7月	85	60	29	17
8月	99	80	36	28
9月	70	42	21	12
10月	86	68	24	13
11月	78	59	17	9
12月	157	122	42	38
1月	118	92	38	28
2月	82	61	22	24
3月	93	77	33	19
合計	1,184	927	350	252
H18比較	2,111		602	
H18比較	-6		-162	

H19 (深夜)

月	0歳～6歳		7歳～14歳	
	男	女	男	女
4月	54	33	7	13
5月	64	64	20	12
6月	49	54	14	8
7月	58	42	14	10
8月	36	40	18	17
9月	37	24	8	7
10月	50	32	13	6
11月	49	30	7	7
12月	101	72	14	12
1月	60	53	16	8
2月	57	44	11	12
3月	44	42	10	5
合計	659	530	152	117
H18比較	1,189		269	
H18比較	674		141	

H19 (合計)

月	0歳～6歳		7歳～14歳		合計
	男	女	男	女	
4月	351	286	75	82	794
5月	350	338	96	62	846
6月	191	193	58	37	479
7月	274	188	74	48	584
8月	202	185	84	67	538
9月	224	146	57	42	469
10月	235	156	53	32	476
11月	225	159	47	37	468
12月	511	400	133	120	1,164
1月	434	390	144	100	1,068
2月	267	191	76	74	608
3月	254	198	87	44	583
合計	3,518	2,830	984	745	8,077
H18比較	6,348		1,729		8,077
H18比較	942		-53		889

H18 (休日)

月	0歳～6歳		7歳～14歳	
	男	女	男	女
4月	139	112	24	23
5月	189	131	41	40
6月	64	76	17	18
7月	138	118	26	25
8月	113	65	24	13
9月	77	76	32	9
10月	91	58	28	20
11月	115	103	31	22
12月	181	151	34	25
1月	199	161	49	44
2月	115	82	71	50
3月	122	98	125	99
合計	1,543	1,231	502	388
H18比較	2,774		890	

H18 (夜間)

月	0歳～6歳		7歳～14歳	
	男	女	男	女
4月	96	78	28	19
5月	124	89	47	20
6月	84	89	22	14
7月	140	82	34	22
8月	86	76	41	25
9月	71	59	21	14
10月	58	46	31	22
11月	109	78	24	33
12月	111	87	37	34
1月	95	73	28	24
2月	77	84	57	41
3月	123	102	73	53
合計	1,174	943	443	321
H18比較	2,117		764	

H18 (深夜)

月	0歳～6歳		7歳～14歳	
	男	女	男	女
4月	23	18	1	4
5月	29	21	4	5
6月	20	15	2	7
7月	28	23	15	5
8月	15	10	7	7
9月	23	12	6	4
10月	17	12	3	4
11月	23	32	6	3
12月	30	29	5	3
1月	29	31	4	3
2月	21	16	6	6
3月	26	12	7	11
合計	284	231	66	62
H18比較	515		128	

H18 (合計)

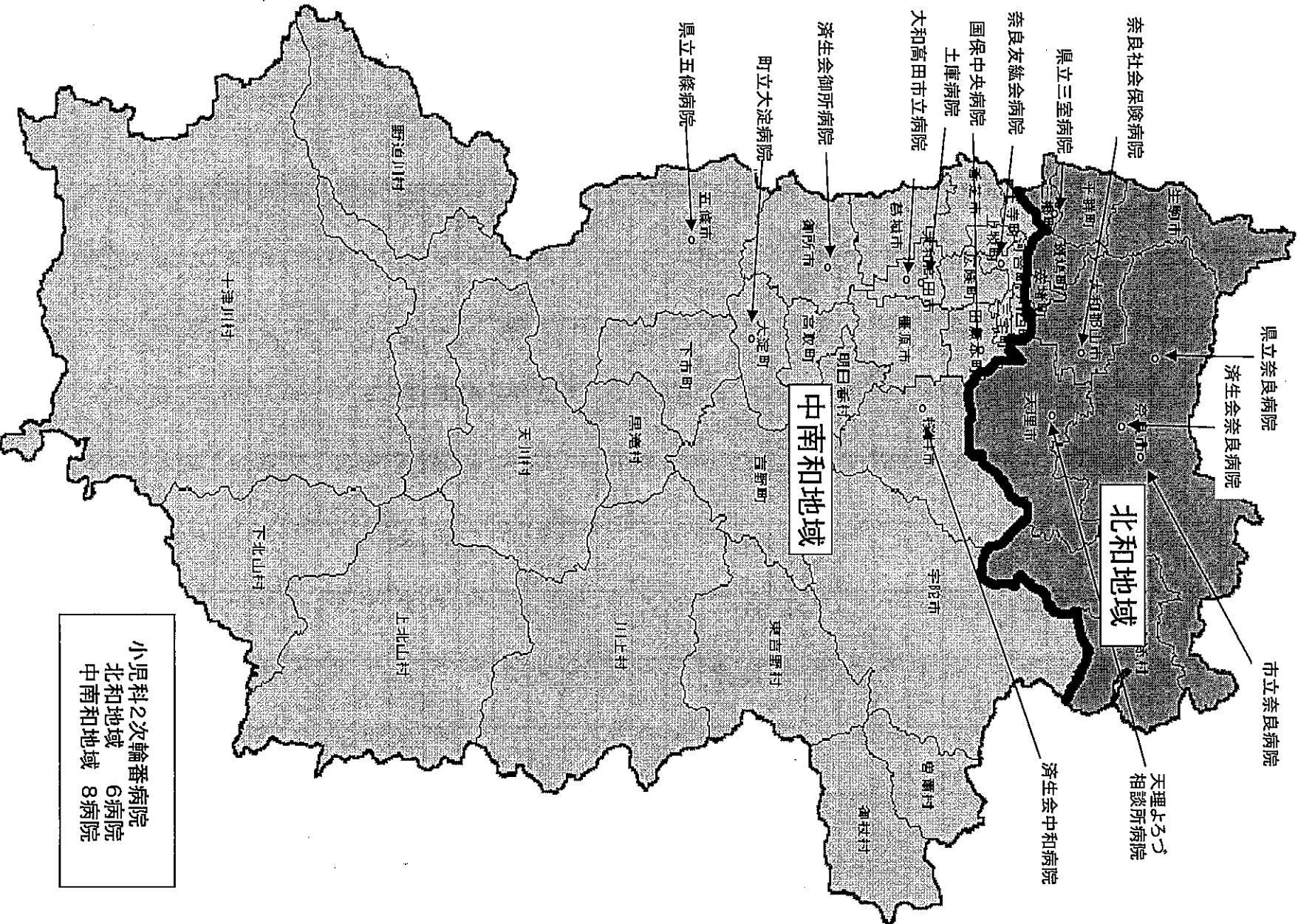
月	0歳～6歳		7歳～14歳		合計
	男	女	男	女	
4月	258	208	53	46	565
5月	342	241	92	65	740
6月	168	180	41	39	428
7月	306	223	75	52	656
8月	214	151	72	45	482
9月	171	147	59	27	404
10月	166	116	62	46	390
11月	247	213	61	58	579
12月	322	267	76	62	727
1月	323	265	81	71	740
2月	213	182	134	97	626
3月	271	212	205	163	851
合計	3,001	2,405	1,011	771	7,188
H18比較	5,406		1,782		7,188

平成19年度 小児科地区別集計 合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
奈良市	1	4	0	2	6	3	0	2	4	11	3	5	41
大和高田市	26	39	24	35	26	22	24	20	55	37	38	24	370
大和郡山市	4	6	1	2	1	2	2	1	3	8	2	4	36
天理市	1	4	2	4	2	3	3	0	5	6	3	2	35
橿原市	438	406	225	273	239	218	251	227	547	507	294	274	3899
桜井市	65	85	47	53	53	47	52	51	142	101	76	67	839
五條市	3	2	5	3	2	1	0	3	3	7	1	3	33
御所市	17	17	20	20	11	21	8	11	29	28	9	13	204
生駒市	0	1	0	1	1	0	1	1	2	3	0	0	10
香芝市	27	40	30	20	21	12	19	34	50	40	21	25	339
葛城市	22	25	18	14	19	25	14	11	31	20	15	16	230
宇陀市	22	28	15	20	16	11	11	23	38	26	21	20	251
山添村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平群町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三郷町	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	6
斑鳩町	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	6
安堵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
川西町	3	8	3	4	5	7	2	5	6	3	4	5	55
三宅町	9	3	5	4	1	0	1	4	2	8	2	1	40
田原本町	27	28	12	25	24	21	16	13	40	48	27	27	308
曽爾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
御杖村	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	7
高取町	14	11	7	5	8	8	9	4	27	19	13	6	131
明日香村	11	8	8	14	10	1	3	9	16	15	16	4	115
上牧町	6	2	0	4	3	6	2	2	6	6	2	3	42
王寺町	0	1	0	0	1	0	0	0	2	3	1	2	10
広陵町	12	14	12	16	11	7	7	7	16	15	5	10	132
河合町	1	1	1	2	2	1	1	4	2	2	0	3	20
吉野町	4	7	3	0	4	8	2	2	5	8	9	1	53
大淀町	35	28	18	31	21	24	22	17	67	36	22	33	354
下市町	4	15	5	7	4	5	4	4	13	15	6	3	85
黒滝村	1	1	1	0	2	0	0	1	1	3	1	1	12
天川村	1	3	2	1	3	0	3	0	1	1	1	1	17
野迫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十津川村	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
下北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川上村	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	5
東吉野村	0	1	0	1	0	0	0	1	3	4	2	1	13
大阪府	12	18	2	6	10	6	6	2	10	8	5	8	93
京都府	4	6	3	1	5	3	1	3	4	5	1	2	38
その他	21	32	9	14	25	5	12	5	31	63	6	15	238
合計	794	846	479	584	538	469	476	468	1164	1068	608	583	8,077

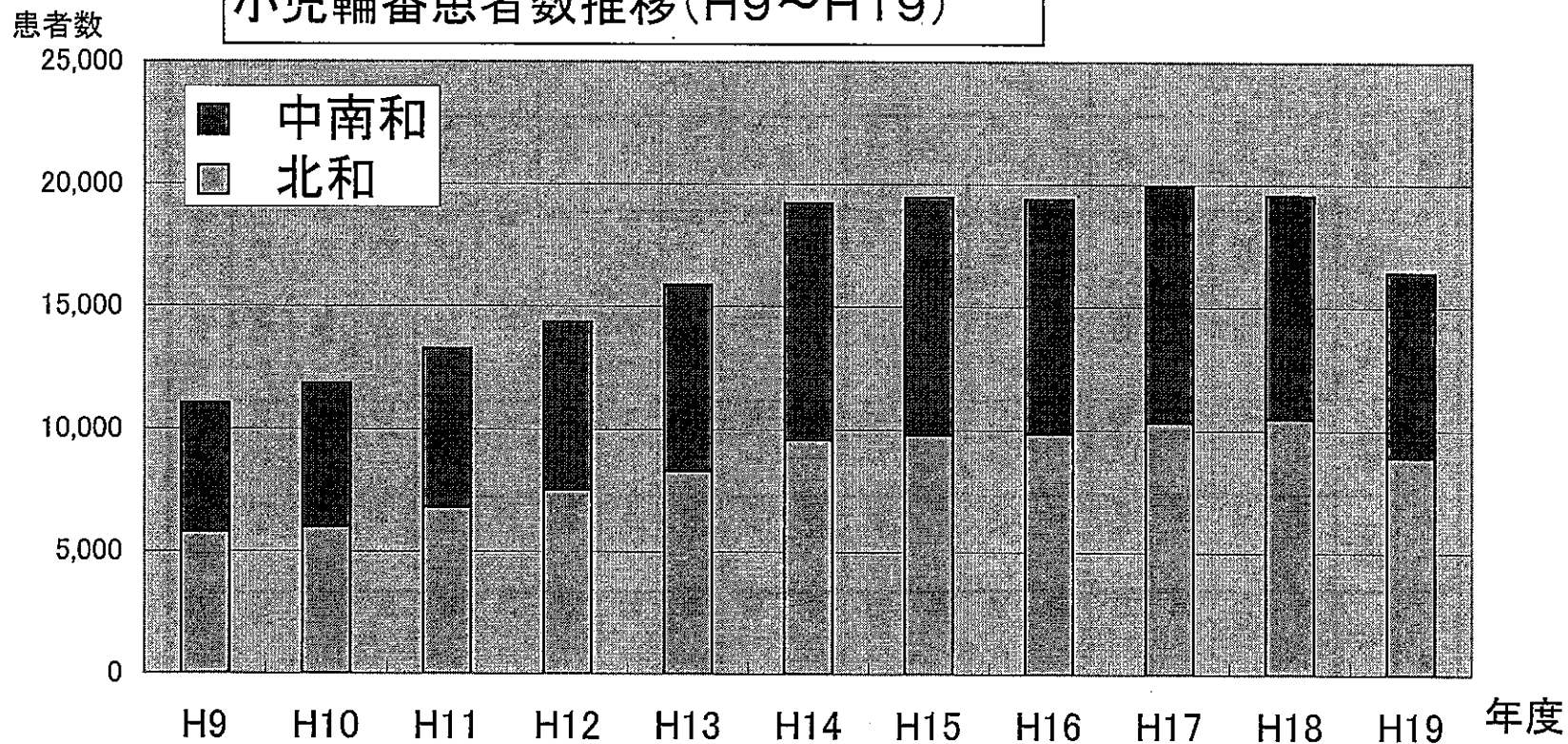
奈良県小児2次救急医療体制図

平成20年4月1日現在



小児科2次輪番病院
北和地域 6病院
中南和地域 8病院

小児輪番患者数推移(H9~H19)



	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	平均
北和	5,773	5,994	6,808	7,533	8,321	9,578	9,802	9,848	10,309	10,490	8,915	8,446
中南和	5,269	5,856	6,446	6,804	7,539	9,641	9,660	9,543	9,606	9,075	7,474	7,944
合計	11,042	11,850	13,254	14,337	15,860	19,219	19,462	19,391	19,915	19,565	16,389	16,390
うち外来	9,881	10,799	12,065	13,055	14,489	17,634	17,808	17,916	18,426	17,995	14,992	15,007
割合	89.49%	91.13%	91.03%	91.06%	91.36%	91.75%	91.50%	92.39%	92.52%	91.98%	91.48%	91.56%

平成 1 9年度小児科 2 次病院輪番体制参加病院の当番実績

(H19. 4. 1～H20. 3. 31)

地域	病院名	当 番 日 数			患 者 数			平均患者数		
		休日	夜間	計	休日	夜間	計	休日	夜間	計
北	県立奈良病院	42	109	151	560	2, 143	2, 703	13. 3	19. 7	17. 9
	県立三笠病院	31	81	112	444	1, 438	1, 882	14. 3	17. 8	16. 8
	天理市立病院	11	15	26	198	250	448	18. 0	16. 7	17. 2
	済生会奈良病院	12	24	36	324	549	873	27. 0	22. 9	24. 3
	奈良社会保険病院	1	48	49	41	855	896	41. 0	17. 8	18. 3
	市立奈良病院	3	65	68	225	1, 523	1, 748	75. 0	23. 4	25. 7
	天理よろづ病院	0	24	24	0	365	365	-	15. 2	15. 2
	計	100	366	466	1, 792	7, 123	8, 915	17. 9	19. 5	19. 1
中	済生会中和病院	12	29	41	187	448	635	15. 6	15. 4	15. 5
	国保中央病院	21	72	93	391	1, 192	1, 583	18. 6	16. 6	17. 0
	宇陀市立病院	2	22	24	37	130	167	18. 5	5. 9	7. 0
	大和高田市立病院	24	71	95	609	1, 374	1, 983	25. 4	19. 4	20. 9
	済生会御所病院	21	52	73	327	759	1, 086	15. 6	14. 6	14. 9
	友誼会病院	1	13	14	10	67	77	10. 0	5. 2	5. 5
	県立五條病院	11	27	38	159	373	532	14. 5	13. 8	14. 0
	町立大淀病院	4	48	52	93	421	514	23. 3	8. 8	9. 9
和	土庫病院	1	32	33	10	887	897	10. 0	27. 7	27. 2
	計	97	366	463	1, 823	5, 651	7, 474	18. 8	15. 4	16. 1
合 計		197	732	929	3, 615	12, 774	16, 389	18. 4	17. 5	17. 6
H18実績		181	730	911	4, 031	15, 534	19, 565	22. 3	21. 3	21. 5

平成19年度小児科病院輪番体制 搬送別患者数

H19.4.1～H20.3.31

	他の医療機関からの転送						直接の来院						合計		
	救急車		その他		計		救急車		その他		計		合計		
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	計
市立奈良	2	3	16	49	18	52	21	134	50	1473	71	1607	89	1659	1748
県立奈良	6	6	31	104	37	110	17	179	72	2288	89	2467	126	2577	2703
済生会奈良	1	2	13	14	14	16	18	54	44	727	62	797	76	797	873
天理市立	3	1	6	19	9	20	13	33	24	349	37	382	46	402	448
奈良社会保険	0	2	9	18	9	20	8	45	20	794	28	839	37	859	896
天理よろづ	0	0	0	0	0	0	16	37	38	274	54	311	54	311	365
県立三室	6	5	51	54	57	59	27	141	89	1509	116	1650	173	1709	1882
済生会中和	2	0	19	10	21	10	30	47	50	477	80	525	101	534	635
国保中央	8	1	55	34	63	35	44	91	157	1193	201	1284	264	1319	1583
宇陀市立	0	0	0	0	0	0	4	28	7	128	11	156	11	156	167
高田市立	1	0	0	60	1	61	22	97	111	1692	133	1789	134	1849	1983
済生会御所	2	4	19	19	21	23	32	72	79	859	111	931	132	954	1086
友紘会	0	0	2	11	2	11	2	13	0	49	2	62	4	73	77
県立五條	2	3	2	6	4	9	6	57	15	441	21	498	25	507	532
町立大淀	0	0	11	9	11	9	19	57	22	396	41	453	52	462	514
土庫	0	0	0	10	0	10	6	36	67	778	73	814	73	824	897
合計	33	27	234	417	267	445	285	1121	845	13427	1130	14565	1397	14992	16389

小児科病院輪番体制 市町村別患者数の増減

年度	18			19			増減		
	休日	夜間	計	休日	夜間	計	休日	夜間	計
消防									
奈良市	950	4,414	5,364	873	3,526	4,399	-77	-888	-965
大和郡山市	317	1,502	1,819	263	1,305	1,568	-54	-197	-251
生駒市	98	432	530	94	403	497	-4	-29	-33
山辺広域	138	587	725	147	439	586	9	-148	-139
天理市	1	13	14	1	6	7	0	-7	-7
山添村	18	94	112	31	88	119	13	-6	7
川西町	21	91	112	29	73	102	8	-18	-10
三宅町	127	310	437	109	253	362	-18	-57	-75
田原本町	458	940	1,400	317	859	1,176	-141	-81	-224
計	26	99	125	32	99	131	6	0	6
西和消防									
平群町	48	204	252	46	208	254	-2	4	2
三郷町	40	314	354	68	274	342	28	-40	-12
斑鳩町	23	104	127	27	92	119	4	-12	-8
安堵町	43	259	302	53	182	235	10	-77	-67
上牧町	49	174	223	43	184	227	-6	10	4
王寺町	28	143	171	31	169	200	3	26	29
河合町	257	1,297	1,554	300	1,208	1,508	43	-89	-46
計	245	906	1,151	222	812	1,034	-23	-94	-117
中和広域									
橿原市	271	1,047	1,318	239	743	982	-32	-304	-336
御所市	165	402	567	145	345	490	-20	-57	-77
高取町	18	64	82	15	56	71	-3	-8	-11
明日香村	6	40	46	7	21	28	1	-19	-18
計	705	2,459	3,164	628	1,977	2,605	-77	-482	-559
桜井市	267	731	998	190	543	733	-77	-188	-265
宇陀市	111	385	496	60	176	236	-51	-209	-260
宇陀村	1	6	7	0	1	1	-1	-5	-6
御杖村	1	9	10	0	4	4	-1	-5	-6
城	113	400	513	60	181	241	-53	-219	-272
香芝市	148	656	804	138	574	712	-10	-82	-92
広陵町	69	352	421	87	357	444	18	5	23
消	217	1,008	1,225	225	931	1,156	8	-77	-69
葛城市	157	447	604	153	500	653	-4	53	49
条	137	322	459	120	236	356	-17	-86	-103
条	137	322	459	120	236	356	-17	-86	-103
吉野町	27	90	117	27	60	87	0	-30	-30
川上村	2	14	16	3	13	16	1	-1	0
下北山村	0	0	0	2	2	4	2	2	4
上北山村	1	2	3	0	0	0	-1	-2	-3
東吉野村	4	10	14	6	16	22	2	6	8
計	34	116	150	38	91	129	4	-25	-21
中吉野広域									
大淀町	132	367	499	101	251	352	-31	-116	-147
下市町	27	100	127	11	55	66	-16	-45	-61
黒滝村	2	4	6	3	2	5	1	-2	-1
天川村	7	6	13	4	5	9	-3	-1	-4
計	168	477	645	119	313	432	-49	-164	-213
役									
野迫川村	1	3	4	3	0	3	2	-3	-1
十津川村	1	8	9	2	4	6	1	-4	-3
計	2	11	13	5	4	9	3	-7	-4
北和計	1,641	7,669	9,310	1,551	6,352	7,903	-90	-1,317	-1,407
中南和計	2,086	7,042	9,128	1,834	5,725	7,559	-252	-1,317	-1,569
県外	304	823	1,127	230	694	924	-74	-129	-203
不明	0	0	0	0	3	3	0	3	3
県合計	4,031	15,534	19,565	3,615	12,774	16,389	-416	-2,760	-3,176

小児医療の集約化・重点化計画の

中間とりまとめ

奈良 県

目 次

1 本県の小児医療の現状と課題

(1) 小児科医師数の推移	3
(2) 二次医療圏別の小児科医の状況	4
(3) 小児救急医療の状況	5
①一次救急医療体制	
②二次救急医療体制	
③三次救急医療体制	
④小児救急医療電話相談事業	
⑤その他	

2 小児科の医療資源の集約化・重点化の方針について

(1) 集約化・重点化の基本的な考え方	10
(2) こども医療圏の設定	10
(3) 小児中核病院、地域小児医療センター、一般小児科病院の選定	11
(4) 集約化・重点化の推進方策	11
① 地域小児医療センターの役割	
② 小児科病院二次輪番体制の継続	
③ 一般小児科病院の分類	
④ 地域小児医療センターに準ずる病院の設定、役割	
⑤ 過疎小児科病院の役割	
⑥ 休日夜間応急診療所の拠点化	
(5) 各こども医療圏における集約化・重点化の推進内容	12
①こども北和医療圏	
②こども東和医療圏	
③こども西和医療圏	
④こども中南和医療圏	
◎ 奈良県小児医療マップ	14
◎ 資料編	15

小児医療の集約化・重点化計画の中間とりまとめ

1 本県の小児医療の現状と課題

(1) 小児科医師数の推移

本県の小児科医師数は、平成8年の146人に対し直近のデータである平成16年は148人となっており、全国と同様に微増している。しかし、医師全体に占める小児科医の割合は、平成8年の6.1%に対し平成16年は5.3%に減少しており、全国に比べ減少の割合が大きい。

【図表1-1 小児科医師数の推移】

(単位：人)

小児科医師数	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
奈良県 (構成比)	146 (6.1%)	146 (5.8%)	152 (5.8%)	140 (5.2%)	148 (5.3%)
全国 (構成比)	13,781 (6.0%)	13,989 (5.9%)	14,156 (5.8%)	14,481 (5.8%)	14,677 (5.7%)

※各年12月末現在「医師・歯科医師・薬剤師数調査」(医療施設従事医師数)

※構成比は、全診療科の医師数に対する小児科医師数

また、小児科医師数の全体は微増しているが、病院勤務医の小児科医師数の推移を見ると、平成15年度の86人から平成19年度は70人に減少している。また、救急車で搬送される7歳以下の小児患者数は、平成7年と平成17年を比べると、約30%増加しており、県内で二次救急に携わる医師の負担が増加している。

【図表1-2 病院に勤務する小児科医数の推移】

(単位：人)

二次医療圏	平成15年度			平成19年度		
	病院数	常勤医師数	非常勤医師数	病院数	常勤医師数	非常勤医師数
奈良	6	13	6.6	6	17	2.3
東和	6	21	1.2	7	18	1.1
西和	7	14	0.6	5	10	0.6
中和	5	33	0.9	4	22	0.7
南和	2	5	0	2	3	1.3
合計	26	86	9.3	24	70	6.0

※各年9月1日現在「小児医療状況調査」(県医務課調べ)

※病院数 小児科医が常勤している病院数

※常勤医師数 小児科医が常勤している病院の常勤医師数

※非常勤医師数 小児科医が常勤している病院の非常勤医師数

【図表1-3 救急搬送患者数（新生児・乳幼児）の推移】（単位：人）

	平成7年	平成17年
新生児（生後28日未満）	164	163
乳幼児（生後29日以上7歳未満）	2,765	3,653
患者数合計 （伸び率）	2,929 (100)	3,816 (130.3)

※平成18年奈良県消防年報

一方、新規小児科医数（大学医学部小児科に入局する医師数）は、全国、奈良県とも新医師臨床研修制度の導入に伴い減少している。全国では平成15年度に638人が新たに小児科医になったのに比べ、平成18年度は497人となり141人減少し、増減率では22.1%の減少した。

奈良県では、平成15年度の8人に比べ、平成18年度には3人となり、新規小児科医数は半数以下となっている。

【図表1-4 新規小児科医数の推移】（単位：人）

	平成14年度	平成15年度	平成18年度	対15年度比
全 国	544	638	497	-22.1%
奈良県	4	8	3	-62.5%

※全国 日本小児科学会調べ 奈良県 奈良県立医科大学調べ

（２）二次医療圏別の小児科医の状況

二次医療圏別の小児科医数は、中和医療圏が45人、奈良医療圏が43人と多く、南和医療圏には6名しか小児科医がいない。人口10万人対医師数で見ても、中和医療圏及び奈良医療圏が11.8人に対し、南和医療圏では、6.5人と約2倍の差がある。小児人口と比較してみると、奈良医療圏と東和医療圏では、小児人口に比べ小児科医が多く、西和医療圏と南和医療圏は小児人口に比べ小児科医が少ない状況となっている。

【図表1-5 二次保健医療圏別の小児科標榜医療機関、医師数の状況】

(単位：カ所、人)

	小児科標榜医療機関数				小児科医師数			小児人口	
	病院	診療所	合計	構成比 (%)	構成比 (%)	人口 10万対		構成比 (%)	
奈良	6 (6)	95	101	25.4	43	29.1	11.8	49,035	25.2
東和	9 (7)	67	76	19.1	26	17.6	10.9	29,962	15.4
西和	6 (5)	63	69	17.4	28	18.9	7.9	48,468	24.9
中和	7 (4)	110	117	29.5	45	30.3	11.8	57,152	29.3
南和	3 (2)	31	34	8.6	6	4.1	6.5	10,160	5.2
合計	31 (24)	366	397	100.0	148	100.0	10.3	194,777	100.0

※医療機関数 H19.9.1県医務課調べ 病院については、小児科を標榜する全病院

() 内は小児科医が常駐する病院、内数

※小児科医数 平成16年医師・歯科医師・薬剤師数調査

※小児人口 H19.10.1住民基本台帳及び外国人登録に基づく人口による

(3) 小児救急医療の状況

小児救急医療においては、一般救急と同様に一次、二次、三次と患者の症状に応じた段階的な体制を整備を図っているところである。

一次救急については、かかりつけ医や市町村が運営する11カ所の休日夜間応急診療所、2地域での在宅当番医制で対応している。二次救急については、県を北和と中南和の2地区に分けた小児科病院二次輪番体制を実施している。また、その後方支援としての三次救急は、県立医科大学附属病院と小児の外科的疾患を伴う患者については、近畿大学医学部奈良病院において対応している。

また、保護者の専門医志向等により、一次の休日夜間応急診療所で受診せずに二次輪番病院に患者が集中し、本来の二次患者の受診に支障をきたすとともに、病院勤務医の過重労働の原因となっている。

そのため、小児科2次輪番病院への患者集中を緩和することを目的の一つとする小児救急医療電話相談事業を実施し、小児科医により、患者家族からの相談に応じるいわゆる0.5次の体制も整備している。

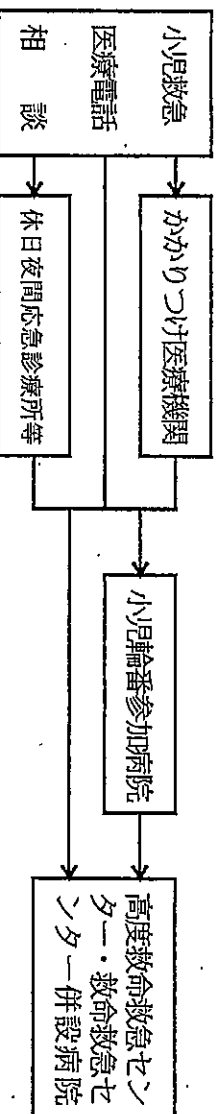
【図表1-6 小児救急医療の流れ】

[0.5次救急]

[一次救急]

[二次救急]

[三次救急]



【図表1-7 小児医療圏の設定状況】

圏域名	圏内市町村
北和	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、山辺郡、生駒郡
中南和	大和高田市、橿原市、御所市、葛城市、高市郡、北葛城郡、桜井市、宇陀市、磯城郡、宇陀郡、五條市、吉野郡

※小児医療圏は、小児科病院二次輪番等の小児救急医療の圏域として設定している。

①一次救急医療体制

＜北和地区の状況＞

北和地区における一次救急医療体制については、地域のかかりつけ医の他、奈良市、(財)生駒メデイカルセンター、大和郡山市、天理市、三室の各休日夜間応急診療所が対応している。

休日夜間応急診療所の実施地域や診察時間帯を見ると、山添村においては一次救急の体制が未整備であり、また、大和郡山市、天理市、三室の各休日夜間応急診療所では、診察は休日のみであり、平日夜間の対応ができない状況となっている。

奈良市、生駒市については、休日以外に平日の夜間の時間帯も対応している。おり、今後は、小児科医による対応時間等の一層の拡大が望まれている。

【図表1-8 休日夜間応急診療所（北和地区）の状況】

診療所名	実施市町村	診察時間帯
奈良市立休日夜間応急診療所 ＜小児科専門医常駐時間帯あり＞	奈良市	毎夜間（準夜） 毎土曜日（終夜） 毎休日（昼間・終夜）
(財)生駒メデイカルセンター 休日夜間応急診療所 ＜小児科専門医常駐時間帯あり＞	生駒市	毎夜間（終夜） 毎休日（昼間・終夜）
大和郡山市立休日夜間応急診療所	大和郡山市	毎休日（昼間・準夜）
天理市立休日夜間応急診療所	天理市	毎休日（昼間）
三室休日夜間応急診療所	平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・王寺町・上牧町・河合町	毎休日（昼間・準夜）

＜中南和地区の状況＞

中南和地区における一次救急医療体制については、地域のかかりつけ医の他、橿原市、桜井市、葛城地区、御所市、五條市の各休日夜間応急診療所と、五條市、十津川村で実施している在宅当番医制により対応している。

しかし、市町村別に実施地域や診察時間帯を見ると、宇陀市、宇陀郡、吉野郡（十

津川村を除く。)においては、一次救急の体制が未整備であり、また、橿原市以外の休日夜間応急診療所では、診察は休日のみであり、平日夜間の対応ができない。このため、橿原市休日夜間応急診療所は、従来から他市町村の小児患者が多数受診している状況にある。

このため、橿原市では、平成19年4月から橿原市休日夜間応急診療所における小児の一次救急の体制をさらに充実し、平日の深夜帯も小児科専門医が常駐する体制を確保したところである。現在、橿原市は中南和地区の他の29市町村に対して、深夜帯の共同運営について参画を呼びかけており、中南和地区の拠点休日夜間応急診療所としての役割が期待されている。

【図表1-9 休日夜間応急診療所（中南和地区）の状況】

診療所名	実施市町村	診察時間帯
橿原市休日夜間応急診療所	橿原市・高取町・明日香村	毎夜間（終夜） 毎休日（昼間・終夜）
<小児科専門医常駐時間帯あり>		
葛城地区休日診療所	大和高田市・香芝市・葛城市・広陵町	毎休日（昼間・準夜）
桜井市休日応急診療所	桜井市	毎休日（昼間・準夜）
御所市休日応急診療所	御所市	毎休日（昼間）
磯城休日応急診療所	川西町・三宅町・田原本町	毎休日（昼間）
五條市応急診療所	五條市	毎土曜日・休日（準夜）

②二次救急医療体制

<北和地区の状況>

北和地区の二次救急医療体制については、小児科を標榜する7病院で休日と毎夜間、輪番を組み小児の二次救急患者に対応している。

しかし、患者の保護者の病院志向、休日夜間応急診療所の診療時間帯が限定されていることや、小児科専門医が診察していない時間帯が多いことから、入院を要さない軽症患者も含め一次患者が二次輪番病院に集中し、本来の二次救急患者の対応に支障を来している。二次輪番病院の患者数は年々増加しており、病院に勤務する小児科医の過重労働の一因ともなっている。

【図表1-10 小児科病院輪番体制（北和地区）】

実施日	毎休日・毎夜間（1日1病院）
参加病院	市立奈良病院、県立奈良病院、済生会奈良病院、天理市立病院、奈良社会保険病院、県立三室病院、天理よろづ相談所病院 (合計 7病院)
地区内市町村	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、山辺郡、生駒郡

【図表1-11 小児輪番病院患者数の推移（北和地区）】（単位：人）

	H9	H11	H13	H15	H17	H18
患者数	5,773	6,808	8,321	9,802	10,309	10,490
うち外来のみ	5,096	6,033	7,557	8,879	9,475	9,559
外来比率	88.3%	88.6%	90.8%	90.6%	91.9%	91.1%

（参考）県全体	11,042	13,254	15,860	19,462	19,915	19,565
---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

＜中南和地区の状況＞

中南和地区の二次救急医療体制については、小児科を標榜する9病院で休日と毎夜間、輪番を組み小児の二次救急患者に対応している。

北和地区と同様に入院を要さない軽症患者も含め一次患者が二次輪番病院に集中し、本来の二次救急の対象患者の対応に支障を来している。特に中南和地区においては、休日夜間応急診療所が未整備の市町村が多く、二次輪番病院への一次患者の割合が高くなっている。このことが病院に勤務する小児科医の過重労働の一因となっていることも、北和地区と同様である。

橿原市休日夜間応急診療所の充実等により、平成15年度頃から患者数は横ばいで推移しているが、中南和地区は、公立病院における小児科医師の確保が困難な状況を受けて、二次輪番への対応が厳しい状況となっている。

【図表1-12 小児科病院輪番体制（中南和地区）】

実施日	毎休日・毎夜間（1日1病院）
参加病院	済生会中和病院、国保中央病院、宇陀市立病院、大和高田市立病院、土庫病院、済生会御所病院、奈良友誼会病院、県立五條病院、町立大淀病院（合計 9病院）
地区内町村	大和高田市、橿原市、御所市、葛城市、高市郡、北葛城郡、桜井市、宇陀市、磯城郡、宇陀郡、五條市、吉野郡

【図表1-13 小児輪番病院患者数の推移（中南和地区）】（単位：人）

	H9	H11	H13	H15	H17	H18
患者数	5,269	6,446	7,539	9,660	9,606	9,075
うち外来のみ	4,785	6,032	6,932	8,929	8,951	8,436
外来比率	90.8%	93.6%	91.9%	92.4%	93.2%	93.0%
（参考）県全体	11,042	13,254	15,860	19,462	19,915	19,565

③三次救急医療体制

現在、県内には県立医科大学附属病院高度救命救急センター、県立奈良病院救命救急センター及び近畿大学医学部奈良病院救命救急センターの3救命救急センターがあり、3次救急に対応している。しかし、小児科専門医が常時当直している救命救急センターはなく、二次救急医療機関である小児科二次輪番病院で重症患者が発生した場合の、三次救急医療機関の受け入れ体制は十分とは言えない状況にある。

④小児救急医療電話相談事業

本県では、平成16年6月から、県医師会の協力により、小児科医が休日等の夜間に小児救急患者の家族等の電話相談を受ける小児救急医療電話相談事業を開始した。電話相談を受けた患者の約7割が直ぐに受診する必要のない患者であり、患者の受診抑制に繋がるとともに患者家族への安心感を与える等の効果がある。しかし、参加する小児科医数等の問題から実施日時が土曜、日曜、祝日及び年末年始の18時から23時という限られた時間帯となっている。

【図表1-14 小児救急医療電話相談事業相談件数】 (単位：件)

	H16	H17	H18	合計
相談件数①	865	1,055	956	2,876
直ぐに医療機関に行く必要ないとした件数②	597	683	664	1,944
②/① (不明を除く)	72.1%	68.4%	69.5%	69.9%

⑤その他

本県では、一般県民に対する小児救急医療に関する啓発活動として、小児救急対応ガイドブックの作成や保護者向けの講習会等を行う「かかりつけ医推進のための小児救急医療啓発事業」を実施している。また、平成17年7月に更新した奈良県広域災害・救急医療情報システムの県民向けホームページにおいて小児救急医療のコーナーを設け、医療機関の紹介や緊急時の対処方法等の広報を行っている。

2 小児科の医療資源の集約化・重点化の方針について

(1) 集約化・重点化の基本的な考え方

本計画を策定するにあたり以下の4点を集約化・重点化の基本的な考え方とする。

- ① こどもに対する医療は小児科医により提供する体制を確保する。
- ② 小児科医の過重労働を強いず、継続、安定的な体制とする。
- ③ 24時間365日小児医療を提供する。
- ④ 休日夜間応急診療所を中心に一次の小児救急医療体制の充実を図る。

(2) こども医療圏の設定

本県における集約化・重点化の圏域としては、小児科標榜病院の状況等から、以下の4カ所の「こども医療圏」を設定する。

【図表2-1 こども医療圏の設定】

こども医療圏	圏内市町村	
こども北和	奈良市	
こども東和	天理市、大和郡山市、山添村	
こども西和	生駒市、生駒郡	
こども中南和	大和高田市、橿原市、御所市、葛城市、高市郡、北葛城郡、桜井市、宇陀市、磯城郡、宇陀郡、五條市、吉野郡	

※集約化・重点化の圏域の名称については、小児科病院二次輪番等の小児救急医療の対象地域として既に設定している小児医療圏と区別するため、こども医療圏とする。

【図表2-2 二次医療圏、小児医療圏、こども医療圏の関係】 (単位：人)

二次医療圏	小児医療圏	こども医療圏	小児人口
奈良	北和	こども北和	49,035
東和（一部）		こども東和	22,576
西和（一部）		こども西和	27,406
中和	中南和	こども中南和	95,760
南和			
東和（一部）			
西和（一部）			
合計			194,777

※小児人口 H19.10.1住民基本台帳及び外国人登録に基づく人口による

(3) 小児中核病院、地域小児医療センター、一般小児科病院の選定

各こども医療圏に1カ所の地域小児医療センターを設定し、当該医療圏の一般小児科病院は地域小児医療センターと連携して小児医療を提供する。なお、奈良県立医科大学附属病院は、小児中核病院に位置づけられるが、地域小児医療センターの機能を併せ持つこととする。

【図表2-3 小児中核病院、地域小児医療センター、一般小児科病院の設定】

こども医療圏	地域小児医療センター	一般小児科病院
こども北和	県立奈良病院	市立奈良病院、済生会奈良病院
		※奈良医療センター、バルツァゴーデル、東大寺整肢圏
こども東和	天理よろづ相談所病院	奈良社会保険病院、天理市立病院
こども西和	近畿大学医学部奈良病院	県立三室病院
こども中南和	＜小児中核病院＞ 県立医科大学附属病院	国保中央病院、大和高田市立病院 済生会中和病院、宇陀市立病院、済生会御所病院、県立五條病院、町立大淀病院、奈良友誼会病院、土庫病院 ※県総合リハビリテーションセンター

※奈良医療センター、バルツァゴーデル、東大寺整肢圏県総合、県総合リハビリテーションセンターは療育施設の機能を持つ。

(4) 集約化・重点化の推進方策

① 地域小児医療センターの役割

地域小児医療センターの4病院は、厚生労働省から示されている人数を目標に医師を重点的に配置し、医療資源の集約化・重点化を行う。そして、集約化・重点化の進展に応じて救急医療や周産期医療等の医療機能を強化する。

② 小児科病院二次輪番体制の継続

二次救急については、引き続き小児科病院二次輪番体制により小児患者の受け入れを行う。圏域の設定については、現状どおり北和地区と中南和地区において実施する。ただし、県立三室病院については、地域の特性上、二次の小児患者の受入先地区については柔軟に対応する。

また、近畿大学医学部奈良病院については、平成18年4月から二次輪番体制への参加を休止中であるが、できるだけ早期に輪番体制への復帰を検討することとする。

③ 一般小児科病院の分類

一般小児科病院については、さらに入院施設を有し、二次救急も実施する一般小児科病院（平成18年6月日本小児科学会理事会中間報告書「小児医療提供体制の改革ビジョン」（以下「改革ビジョン」という。）に規定される「一般小児科」と、外来を中心とし、入院は軽易なもののみを受ける過疎小児科病院（改革ビジョンに規定される「過疎小児科」）に分類する。

④ 地域小児医療センターに準ずる病院の設定、役割

一般小児科病院のうち、市立奈良病院、県立三室病院、国保中央病院及び大和高田市立病院は、地域小児医療センターに準ずる病院とし、二次救急等について中心的な役割を担う。

⑤ 過疎小児科病院の役割

過疎小児科病院については、日本小児科学会奈良地方会策定「奈良県小児医療提供体制モデル（2005年4月改訂）」に準じ、宇陀市立病院、県立五條病院とする。過疎小児科病院は、将来的には二次輪番には参加せず、当該病院の医師は、地域小児医療センター又は二次輪番に参加している一般小児科病院に出診し当直業務を担う。

⑥ 休日夜間応急診療所の拠点化

一次救急については、中南和では橿原市休日夜間応急診療所が、北和では奈良市立休日夜間応急診療所がそれぞれの拠点として、同じく北和地区の（財）生駒市メダイカルセンター休日夜間応急診療所は生駒市周辺の患者の受け入れを行い、一次救急患者に対応する。一次施設で受診した患者のうち入院治療等が必要とされる患者は、各地区の二次輪番病院へ搬送する。

（５）各こども医療圏における集約化・重点化の推進内容

① こども北和医療圏

県立奈良病院は、地域小児医療センターとして厚生労働省から示されている人数を目標に医師を重点的に配置し、医療資源の集約化・重点化を行う。併せて、救急医療や周産期医療などの医療機能も強化する。

また、市立奈良病院は、地域小児医療センターに準ずる病院として二次救急の中心的な役割を担う。済生会奈良病院は、一般小児科病院として可能な限り二次輪番体制に参画する。

② こども東和医療圏

天理よろづ相談所病院は、地域小児医療センターとして医療資源の集約化・重点化を行い、救急医療や周産期医療を提供する。周産期医療については、現在、小児循環器疾患の患者を受け入れているが、県全体のNICUが不足していることから、今後、NICU及びNICUの後方病床を整備することを期待する。

また、奈良社会保険病院及び天理市立病院は、一般小児科病院として可能な限り二次輪番体制に参画する。

③こども西和医療圏

近畿大学医学部奈良病院は、地域小児医療センターとして医療資源の集約化・重点化を行い、周産期医療や三次の救急医療を提供する。平成18年4月から二次輪番体制への参加を休止中であるが、できるだけ早期に輪番体制への復帰を図ることとする。

また、県立三室病院は、地域小児医療センターに準ずる病院として二次救急の中心的な機能を担うとともに、地域の特性上、二次の小児患者の受入先地区については柔軟に対応する。

④こども中南和医療圏

県立医科大学附属病院は、地域小児医療センターの機能を持つ小児中核病院として、三次救急の提供及び総合周産期母子医療センターの機能を担うものとする。

また、国保中央病院及び大和高田市立病院は、地域小児医療センターに準ずる病院として二次救急の中心的な役割を担う。

一次救急について、橿原市休日夜間応急診療所が中南和地区の拠点として、患者の受け入れを行い、一次救急患者に対応する。このうち入院治療等が必要とされる患者は、二次輪番病院へ搬送する。

奈良県小児医療マップ(案)

